

設立 平成24年 5月15日
開塾 平成24年 9月 8日
発行 令和 4年 9月10日
(112号)



[事務局] 〒567-0861
大阪府茨木市東奈良
2-7-10
TEL/FAX
0736-38-3680

祝 第十一期 入塾式を迎えて



世話人
代表
中川千都子

昨年の夏のこと、私のもとに一本の電話が入りました。

それは面識のない六〇代のご婦人からで、「第10期人間学塾・中之島入塾案内」のリーフレットを手に問い合わせの電話でした。

その方は矢継ぎ早に質問をされ、塾ではどんなことを学ぶのか？をしきりにお尋ねになられました。私は、当塾では国民教育の師父と呼ばれた森信三先生の教学をベースに日常の実践を学び続けていること、志高く活動されている一流の講師の先生方をお招きし、講話を拝聴したり、塾生自身が講話者となって学びあっていることなどを手短かに説明しました。

その方は私の説明を遮り唐突に「講師にホリエモンは来ますか？」と聞かれました。私は面食らいつつも、その予定はない、と答えると、さも得意げに「私の行っている勉強会にはホリエモンぐらいい来ますよ」と言われ、さらに質問をされました。「人間学塾で学んだら、儲かりますか？商売繁盛しますか」。

あまりに単刀直入な質問に些かたじろいだものの、私はこう答えました。

「当塾で学んだ途端、直ちに収入が増えるということはないかもしれませんが、しかし、日常の暮らしのなかで人間力を磨く実践をし続けるうちに、

お商売にも必ずや良い影響が出ることと確信しています」。

その方は、自分にはもうそんなに悠長にできるほど時間はない、直ぐに結果がでることに取り組みたいと言われ、電話は切れました。その後再び連絡をいただくことはありませんでした。

まあ今回はご縁がなかったのかな、と思いつつも、自分の対応を振り返り反省しました。

今後また同様の問い合わせや質問があったときには、どう答えればよいのだろうか。逡巡するうちに一つの言葉がふと浮かびました。

・「人間繁盛」

これは、かつて当塾にご登壇くださった勝光寺ご住職の井本全海先生に教えていただいた、「生き生きわくわく輝いている魅力的な人間」という意味を示す井本先生の造語。

そして人間繁盛している人とはどんな人かという左記の13項目です。

- (1) 生命力が旺盛で元気な人
- (2) 人間力を強く持っている人
- (3) 自分が好きで、自信と誇りと夢を持っている人
- (4) 自分らしく生きて、人生を楽しんでいる人
- (5) 人間好きで、同性にも異性にも人気のある人
- (6) 人間関係づくりの上手な人
- (7) 仕事を楽しんで、燃えている人
- (8) どん底を乗り越えてきた人
- (9) 貯金型人間 金儲けより人儲け。金持ちより人持ち。
- (10) 向上心の旺盛な人
- (11) 使命、天命、役目、志、天職に邁進し、生きがいを持っている人
- (12) 人生の師を持っている人

(13) 運やツキに好かれ、それをうまく活かす人
これだ！共に学ぶ仲間を思い浮かべるにつけ、人間学塾での学びは、まさに「人間繁盛」の道そのものだと思えてきました。

皆さま

人間繁盛の人間学塾・中之島へようこそ！
ご入塾おめでとうございます。

第十一期のスタート、新たな十年への第一歩を皆さまとともに踏み出せることが大いなる喜びです。

どうぞよろしくお願いいたします。



世話人
副代表
古田修平

「ピンチをチャンス」に変える

塾生の皆様、人間学塾・中之島第十一期、入塾おめでとうございます。

人間学塾・中之島は、十一年目に入ります、前身である「天分塾」から数えて二十五年目となります。皆様にとって有意義な一年となることを願っています。

コロナ禍で生活習慣が変わり、人との関わりが減り、生き方に対する考え方が大きく変わっている中で、九月から始まる第十一期に多くの皆様が入塾されましたことは、誠に喜ばしいことであり、新しい時代への希望を感じます。

私たちは、「すべてを受け入れる」ことを学ん

できました。起こった事象に対して、どんな状況でもまず、受け入れることから始まります。今回のコロナ禍は、収束の見通しがなくまま二年半が過ぎました。「ピンチはチャンス」とよく言われますが、今がまたとないチャンスではないでしょうか。

「平穏で無難な生活がいい」と望んでいる人は、多くおられると思います。私自身も毎日、平穏な日々が過ごせたらいいなと思っている一人です。でも、そんな日々の中では、チャレンジをすることはほとんどありません。何か問題が発生したり、壁にぶつかったりした時に、自分の心の中にある闘志がフツフツと湧いてくると思うのです。今の時代の環境が、自分の人生の中で、「逆境」であるのなら、変化ができるチャンスではないでしょうか。

人間学塾・中之島で学ぶことで、皆様の人生を変えることはできませんが、登壇される講師のお言葉や、塾生同士のつながりの中で、何かのきっかけになることがあると確信しております。

私自身は、今期より事務局という役職を担うことになりました。今までも総務として関わってまいりましたが、今後ますます繊細さが求められます。第一期より担当されました宮本眞弓様の後を引き継ぎ、指導を仰ぎながら、この高い「壁」を新しい生き方の試練と考え、まさに「ピンチはチャンス」と捉えて、チャレンジしてまいります。

塾生の皆様に安心を感じていただける事務局を目指します。



世話人

副代表

松本 学

「我以外皆我師」

人間学塾・中之島の第十一期へのご入塾、おめでとうございます。新規の皆様にとっては格別の期待と不安を抱かれてのご入塾、またご継続の皆様にとっても新たな決意を秘められてのご入塾と拝察いたします。世情が慌ただしく明日さえ見通せない時代に生きる私たちですが、人間学塾・中之島で共に学ばせていただくこれからの一年は素晴らしいものになると確信のよなものを感じます。

八月半ばに開催した第十期の卒業式に集われた塾生、リモート参加された塾生のお一人おひとりから発せられた「志・実践」への想いの一言は、一年間の学びの深さ、尊さを十二分に感じさせていただく内容でした。若輩者の私にとっては、人生の大先輩である皆様がそれぞれの年齢で体験され、心眼で見えていらつしやる世界や、更なる高みを目指して心中に秘めていらつしやることの一端を次々と垣間見ることができる貴重で濃厚な学びのひと時でした。まさに「我以外皆我師」、第十一期も一緒に過ごさせて頂ける幸せを実感しています。森信三先生のお言葉に、「人間は一生のうち逢うべき人には必ず逢える。しかも一瞬早過ぎず、一瞬遅過ぎない時に」があります。道友との絶対必然のご縁、そして人間学塾・中之島という非日常空間、生き方の道場を与えられた大恩に感謝しつつ、魂が喜ぶ一年にしてまいりましょう。

「天分塾ニュース」第百三十二号（第十二期入塾記念号）に寺田一清先生が書かれた入塾生への三つの願いを再掲させていただきます、人間学塾・中之島第十一期のスタートをきりたいと思います。

- ★よき師よき友と交わり交流を重ねてください。
- ★生き方の原理原則をどうか学んでください。
- ★小さな実践の着手点をどうか掴んでください。

《人間学塾・中之島》次月日程

◆ 日程 10月8日（土曜）

午後1時開講（受付午後0時）

◆ 会場 大阪市中央公会堂（大会議室 地下1F）

大阪市北区中之島一丁目一二七

Tel. 〇六―六二〇八―二〇〇二

◆ 講師 池間哲郎先生

「日本はなぜアジアの国から愛されているのか」今私たちの学ぶべきこと」

◆「11月 宿泊研修」

● 日程 11月12日（土曜）～13日（日曜）

● 受付 午前11時30時

● 修養団伊勢青少年研修センター

三重県伊勢市宇治今在家町一五三

Tel. 〇五九六―二五―〇二六五

● 12日 講師 山元加津子先生

「大好きは魔法のことば」

● 13日 講師 武田数宏 センター長

「ヤマトのこころ」

終了 午後0時30分頃予定

詳細は別途後日ご案内



第10期卒業式を終えて



上田 真弓

「私は、人間学塾で人として成長します!!」と、みなさまの前で意気込みを発表した一年前の入塾式を思い出しました。

一年がたち成長したかという・・・、残念ながらそんなすぐに成長できるものでもなく、一年前と変わっていない私です。

その中で一年前と違うのは、人間学塾の諸先輩方の何処までも学ぼうとされている前向きな姿を見し、私もこうでありたいと思えるようになったことです。

みなさまと接していると、すごく刺激になって意欲が湧いてくるんです。

こんな素晴らしい先輩方の中で一緒に学ばせていただいていることが、とてもありがたく感謝に思えます。

そして、素晴らしい講師の先生方のお話には、毎回気づきと学びをいただいています。

なかなかお会いできない先生方の貴重なお話を直接拝聴できるのは、人間学塾だからこそで、お金では買えない宝物になっています。

貴重と言えば11月の宿泊研修の体験です。

伊勢修養団での五十鈴川の水行は生まれて初めての体験で、凍りつくような水につかり、頭の下から足の先まで電気が走り、身も心も生まれ変わったような感覚でした。

色々な体験をさせていただき、この一年は、あつという間に過ぎていったように思います。

引き続き11期も塾生のみなさま方と一緒に学ばせていただき、次回の卒業式には「私、成長できました」と言える自分でありたいと思っています。11期もどうぞよろしくお願い致します。



加藤 昌夫

八月十三日に第十期「人間学塾・中之島」の卒業式を無事終えることが出来ました。塾生の皆さんの「志・実践」への想いを聴き、コロナ禍の中、リモート開催も交えて継続出来たことを嬉しく思いました。

二十四年前に「天分塾」第一期生として入塾し、天分塾で十四年、「人間学塾・中之島」で十年学ぶことで、たくさんの学びと出逢いを得ることが出来ました。

二十四年間、一緒に学ばれた方がもう一人おられます。橋本美津枝さんです。昨年の十一月に九十歳になれたとのことです。真摯に学び続けられる姿にいつも感動します。素晴らしい方と一緒に学ぶことが出来るのもこの塾の良いところです。

昨年の八月から、森信三先生が創刊された月刊『実践人』の表紙写真を担当させて頂けたのも、この塾で学び続けて来たお蔭です。

今後も塾生の皆さんと一緒に「一隅を照らす」実践をしていきたいと思っています。

宮本真弓様 ありがとうございました!!

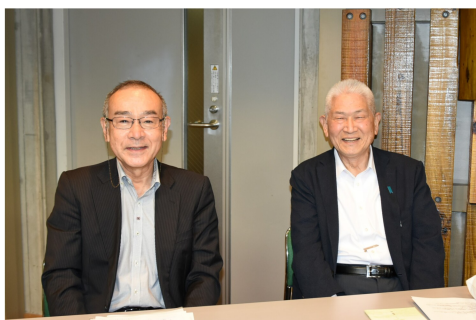


天分塾時代から長年に事務局・編集担当として、運営にご貢献いただいた宮本真弓様が、第十期をもって、事務局の大役を退任されました。いろいろな本当にありがとうございました。改めてお礼申し上げます!

第10期 卒塾式

於 令和4年8月13日
大阪市中央公会堂

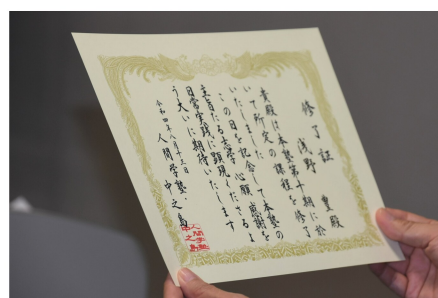
第11期へ



清水顧問・細川顧問



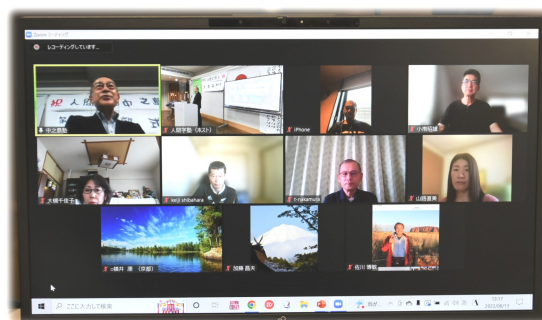
三役世話人



修了証



修了証授与



リモート出席